

2009年3月期

第2四半期決算説明会資料



 **日本プリメックス株式会社**

2008年12月 2日

目次

2009年3月期 第2四半期決算業績説明

2009年3月期 第2四半期決算ハイライト(連結)・	3 p
2009年3月期 第2四半期決算業績 要因分析・	4 p
製品別売上高	5 p
貸借対照表(資産の部)	6 p
貸借対照表(負債・資本の部)	7 p

2009年3月期 下期の重点施策

2009年3月期 下期重点施策	9 p
海外展示会への出展	11 p
国内展示会への出展	12 p
新開発プリンタメカニズム画像	13 p
新開発KIOSKプリンタ画像	14 p
ニチプリ電子工業の生産の目標	15 p
ニチプリ電子工業生産の進捗状況	16 p
ニチプリ電子工業新本社工場写真	17 p
同 本社工場の紹介	18 p

通期業績予想を下方修正	19 p
鳥瞰図	20 p - 1
将来あるべき姿	20 p - 2

(補足資料)

産業用小型プリンタ(1)	21 p
産業用小型プリンタ(2)	22 p
産業用小型プリンタ(3)	23 p
I R 窓口	24 p

2009年 3 月期
第 2 四半期業績説明

2009年3月期 第2四半期決算ハイライト（連結）

	前期 (2007年9月)	実績 (2008年9月)	前年 同期比
	百万円	百万円	
売上高	2,705	2,516	93.0%
営業利益	223	148	66.4%
経常利益	247	220	88.9%
当期純利益	137	130	94.4%

2009年3月期第 2 四半期決算業績 要因分析

・売上高は国内小型プリンタ市場の低迷、継続案件のリピート受注の減少等により、前年比93%であった。

・海外売上高はディーボルド、ヨーロッパ地区等の売上減少したことにより、前年比83%となった。

・円高の影響により利益率が低下した。

・営業外収益は、円高傾向ではあるが為替差益 41百万円、受取利息 36百万が発生
営業外費用は、投資有価証券評価損 10百万円が発生した。

製品別売上高

◆付加価値の高い自社製品は引続き維持

	2006年3月		2007年3月		2008年3月		2009年9月	
	売上高		売上高		売上高		売上高	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
ミニプリンタ メカニズム	604	10.6%	565	9.2%	453	8.5%	225	9.0%
ケース入り ミニプリンタ	3,002	52.9%	3,502	57.1%	3,082	57.6%	1,371	54.5%
ミニプリンタ 関連商品	970	17.1%	1,043	17.0%	927	17.3%	476	18.9%
消耗品	451	7.9%	455	7.4%	450	8.4%	221	8.8%
大型 プリンタ	167	3.0%	130	2.1%	96	1.8%	50	2.0%
その他	483	8.5%	438	7.2%	339	6.4%	173	6.8%
合計	5,677	100.0%	6,133	100.0%	5,349	100.0%	2,516	100.0%

貸借対照表（資産の部）

	08年3月	08年 9月	前期比 増減
流動資産	4,186	4,489	+303
現金及び預金	2,289	2,323	+ 34
受取手形及び売掛金	1,335	1,405	+ 70
有価証券	-	191	+191
たな卸資産	504	531	+ 27
その他	58	39	19
固定資産	1,989	1,699	290
有形固定資産	1,372	1,382	+ 10
無形固定資産	3	3	0
投資その他の資産	614	314	300
総資産	6,175	6,188	+ 13

貸借対照表（負債・資本の部）

	08年 3月	08年 9月	前期比 増減
流動負債合計	1,650	1,653	+3
支払手形及び買掛金	1,348	1,262	86
短期借入金	180	180	0
賞与引当金	45	52	+7
その他	77	159	+82
固定負債合計	151	182	+31
退職給付引当金	74	80	+6
役員退職慰労引当金	76	81	+5
その他	1	21	+20
負債合計	1,801	1,835	+34
株主資本合計	4,374	4,353	21
負債純資産	6,175	6,188	+13

2009年 3 月期

下期の重点施策

2009年 3 月期下期重点施策

国内販売

- 現状の経済状況に合った攻めの提案営業への転換
- 未来環境の変化に対応した営業体制整備
- シェア拡大の取り組み
- ユーザーへのタイムリーな提案により確実な販売の実行
- 展示会及びプライベートショーの開催によるユーザーの獲得

海外販売

- コストダウンを図った新規自社製メカニズム搭載製品の販売強化
- 上記自社製製品の大口OEM案件の獲得を目指す。
- 各種展示会を積極的に展開し、ブランド力の向上とビジネスチャンスの創出

製造・開発

- 現在の経済状況に則したコスト重視のキオスクプリンタの開発
- NII部品管理システムの導入による原価低減と部品在庫管理
- 製品の内製化と合理化による原価低減
- 部品等の標準化・共通化によるコストダウン
- 生産技術の向上、品質管理部門の強化
- 資材調達力の強化(海外調達を含む)
- 標準化委員会の発足により生産開発のムダ排除の徹底

海外展示会への出展

積極的な海外出展

世界中のユーザーからニーズを探るマーケティング活動



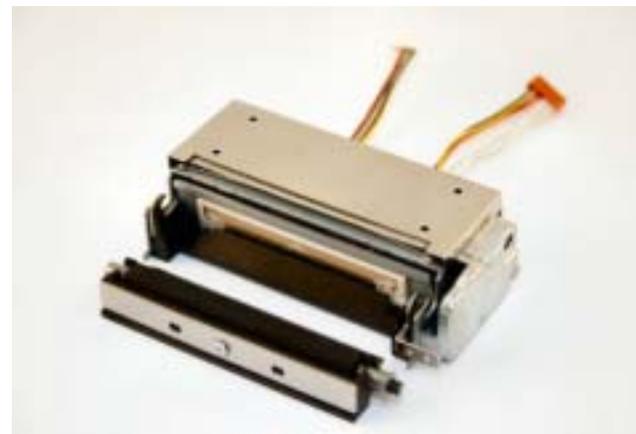
国内展示会への出展

◆展示会来店者へのアプローチによる新規開拓

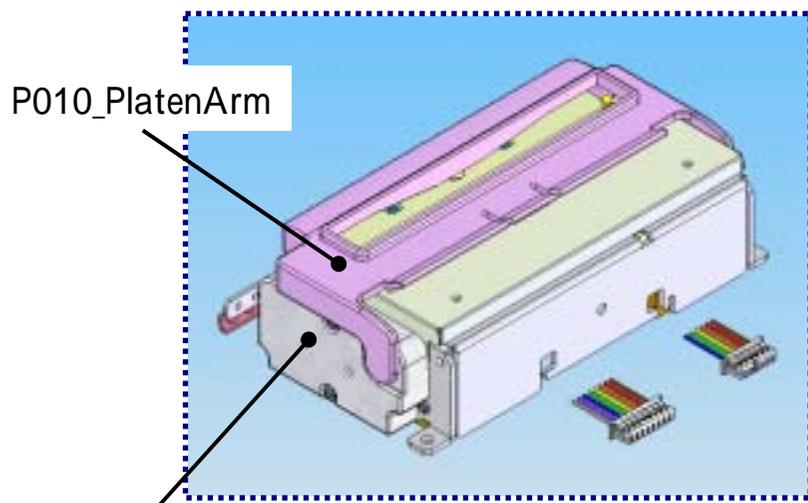
日時	展示会	開催場所
2008/11/26 ~ 11/28	第10回 図書館総合展	パシフィコ横浜
2008/11/20 ~ 11/22	山梨テクノフェア & マルチメディアエキスポ	アイメッセ山梨(甲府市大津町)
2008/11/19 ~ 11/21	Embedded Technology 2008 / 組込み総合技術展	パシフィコ横浜
2008/10/08 ~ 10/10	九州・国際テクノフェア - ITCコンバージェンス2008	西日本総合展示場新館 (北九州市小倉北区)
2008/09/10 ~ 09/12	第10回 自動認識総合展	東京ビッグサイト
2008/09/10 ~ 09/12	2008 分析展	幕張メッセ
2008/07/16 ~ 07/18	国際モダンホスピタルショウ2008	東京ビッグサイト

新開発プリンタメカニズム画像

クラムシェルタイプ

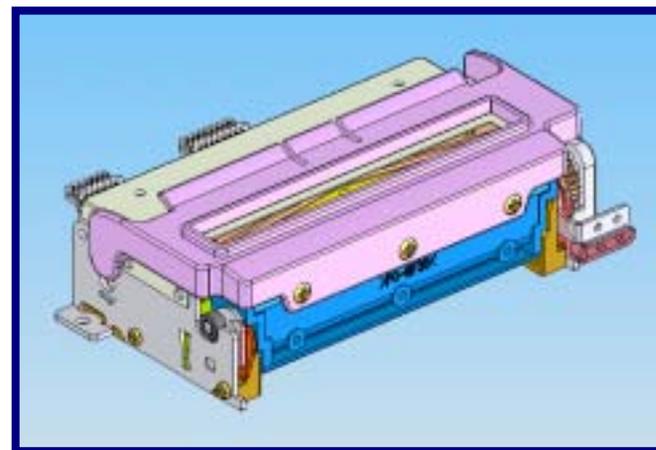


オートローディングタイプ

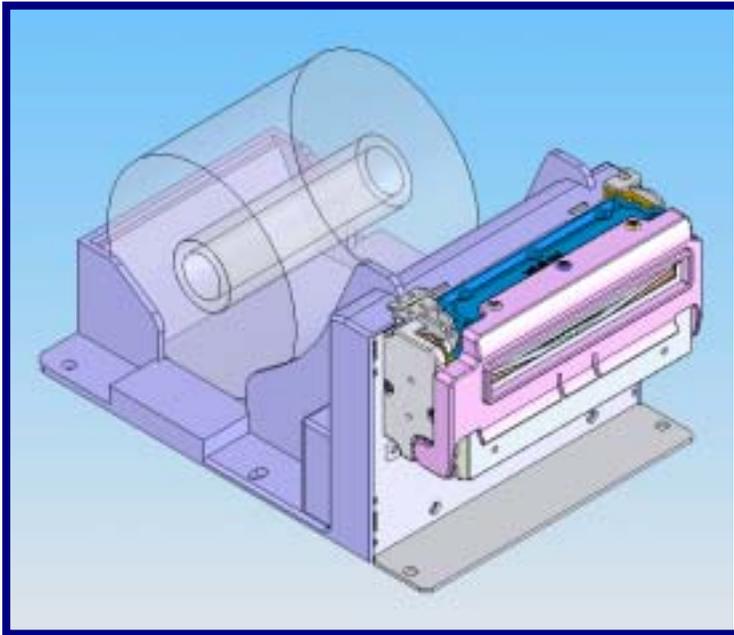


P010_PF_GearCover

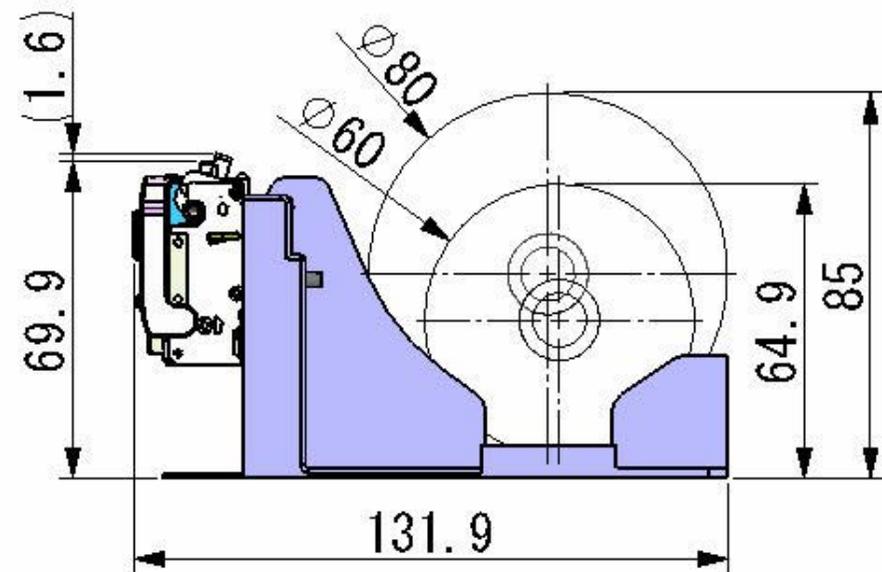
カールパスタタイプ



新開発 K I O S K プリンタ画像



側面図



ニチプリ電子工業の生産の目標

◆様々なニーズに対応すべく商品開発の推進。

将来のソリューションプロバイダーの布石作り。

来期に向け、生産自動化の推進により生産の合理化、生産の増強。

1) 工場部門 開発センターと工場の機能がさらに向上しました。

今後、生産の効率化をはかり、原価低減、納期短縮を進めてまいります。

2) 開発部門 新製品の開発及び市場投入、既存製品の改良及び新規用途の開拓を進めてまいります。

ニチプリ電子工業生産の進捗状況

1) 生産能力強化

年間60、000台体制より150、000台体制へ。

2) コストダウン

外部委託生産全機種の内産

部品標準化、共通化を推進することによりコストダウン

海外生産の検討

3) 生産向上に向けて

部品の標準化及び工数再設定により生産性向上に取り組む。

4) 作業者の育成と適正化

個人別育成目標の設定と教育。

ニチプリ電子工業新本社工場



新本社工場の紹介

設計・開発



設計会議



製造



倉庫



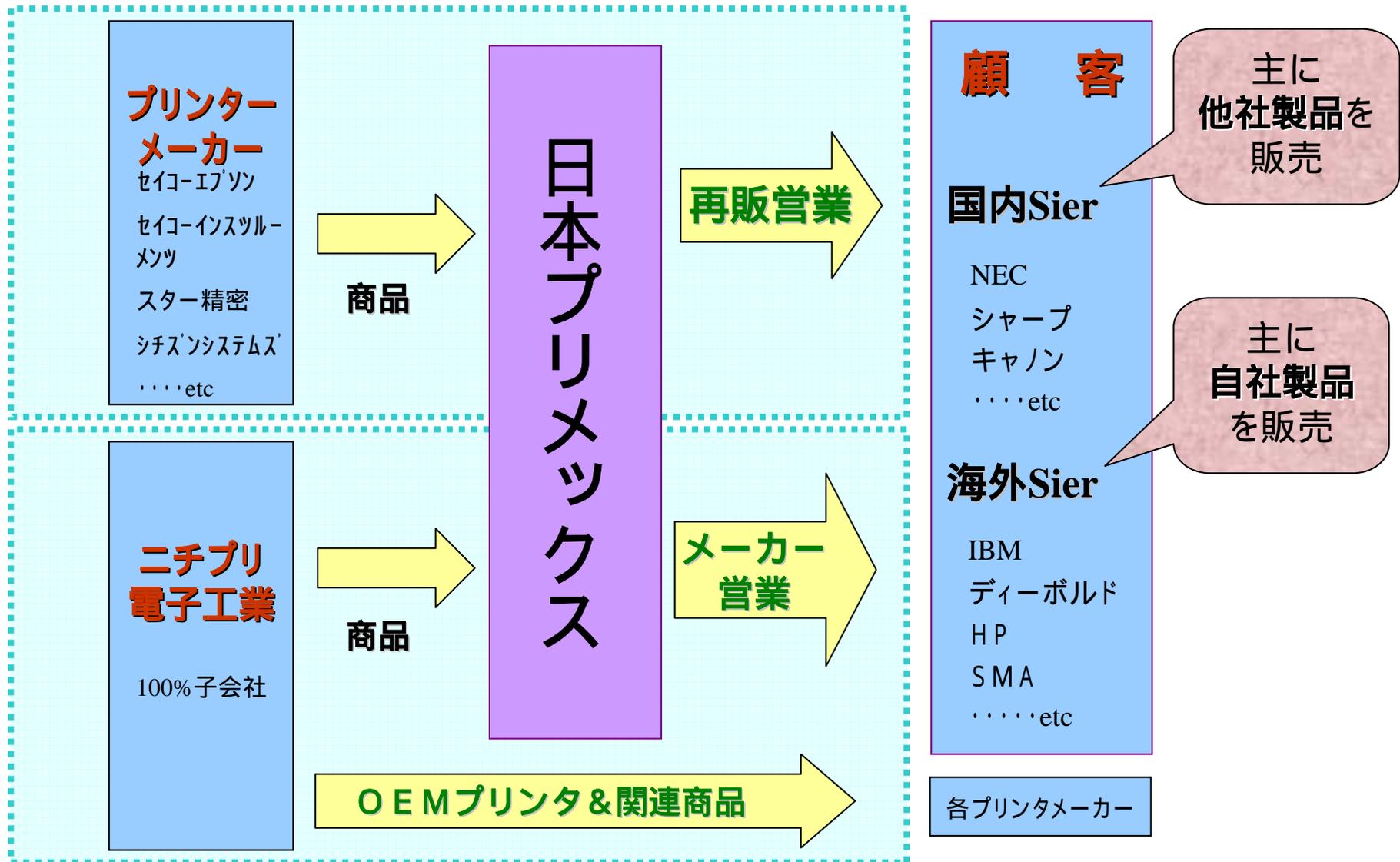
通期業績予想を下方修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	5,704	526	568	334
今回修正予想	5,100	315	396	246
増減額	604	211	172	88
増減率	10.5%	40.1%	30.2%	26.3%

国内・海外の小型プリンタ市場は、景気後退及び、設備投資の影響により第3四半期以降も需要環境はさらに厳しさを増すことが予想され、通期業績予想を下方修正いたしました。(10月31日に発表)

事業鳥瞰図



将来あるべき姿

将来的にはプリンタのトータルソリューション提供企業へ



(単位:百万円)

決算期 (連結)	2007年3月	(前期比)	2008年3月	(前年比)	2008年9月	2009年3月 計画
全社売上高	6,133	8.0%	5,349	-12.7%	2,516	5,100
内自社製品売上高	1,749	16.2%	1,690	-3.4%	689	1,430
自社製品比率	28.5%	-	31.6%	-	27.4%	28.0%

産業用小型プリンタ(1)

多岐にわたる用途に使用されるミニプリンタ

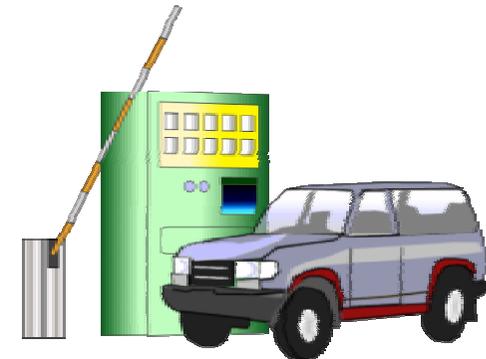
KIOSK端末レシート



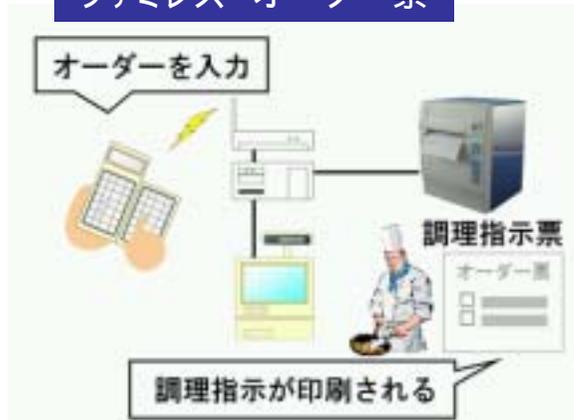
クリーニング 預かり票



タイムパーキング 領収証



ファミレス オーダー票



図書館 貸出票



タクシー 領収証

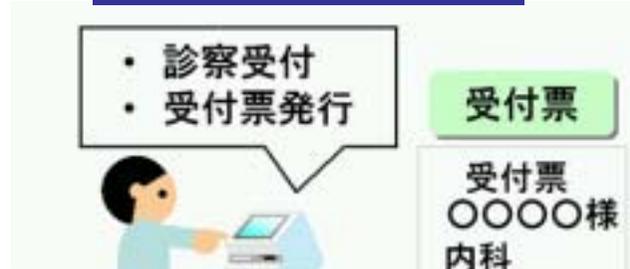


産業用小型プリンタ(2)

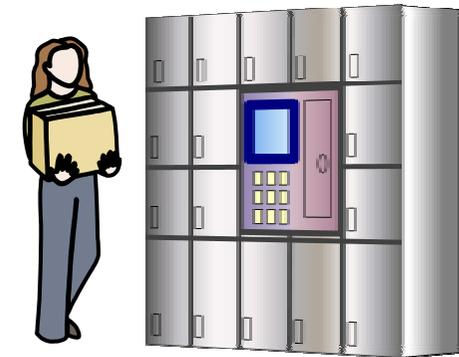
マルチメディア KIOSK



病院 診察受付票



宅配ロッカー 預り証



ミニプリンタはメモを印字

CD等記録メディアの発達により文書等はペーパーレス化が進むと思われるが、メモは簡易的な記録用紙であるためペーパーレス化の波は受け難い。

医療機器 診断データ



e-チケット



駐輪場 定期券



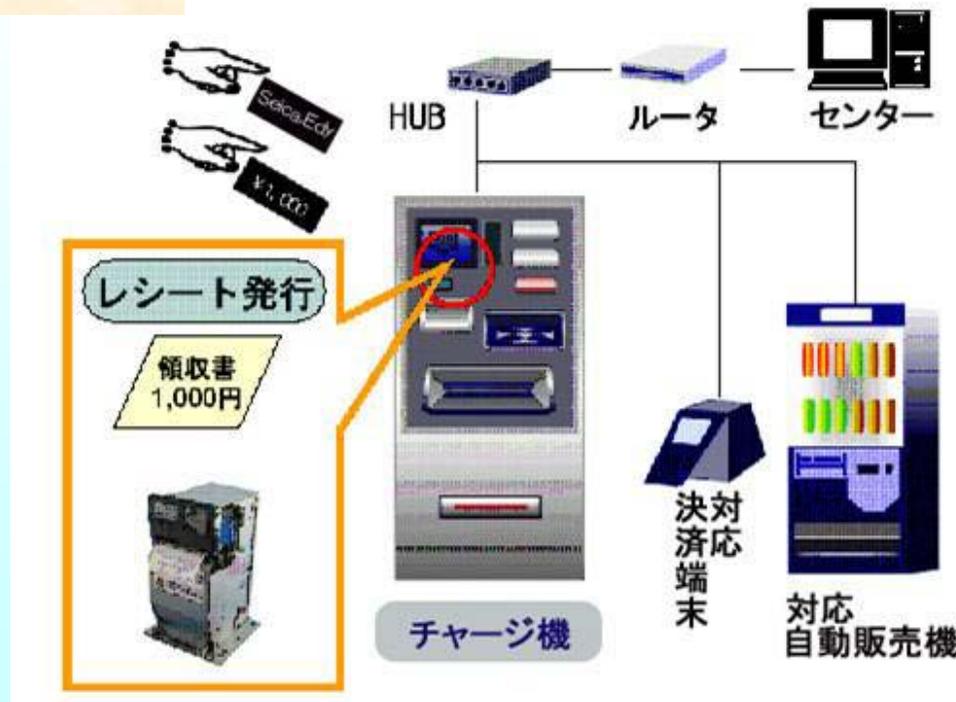
産業用小型プリンタ (3)

技術革新の中にも新たな需要が誕生

プリペイド型電子マネー・サービス **Suica, Edy**

プリペイド型電子マネー・サービスのチャージ機のレシート発行にも使用されている。

チャージ機 システム構成



IR窓口

情報開示担当役員 兼 IR担当役員
取締役 管理本部長 清水 浩久

IR事務連絡責任者
企画室長 神戸 秀実

連絡先: TEL03-3750-8555

E-Mail ir-info@primex.co.jp